



ガラスブロックの入力方法


文書管理番号：1228-01

Q. 質問

ガラスブロックを表現したい。

A. 回答

ガラスブロックは、 (出窓) に搭載していますので、 (矩形出窓(部品)) から選択して配置します。

 (矩形出窓(部品)) には、以下の5種類のガラスブロックがあります。



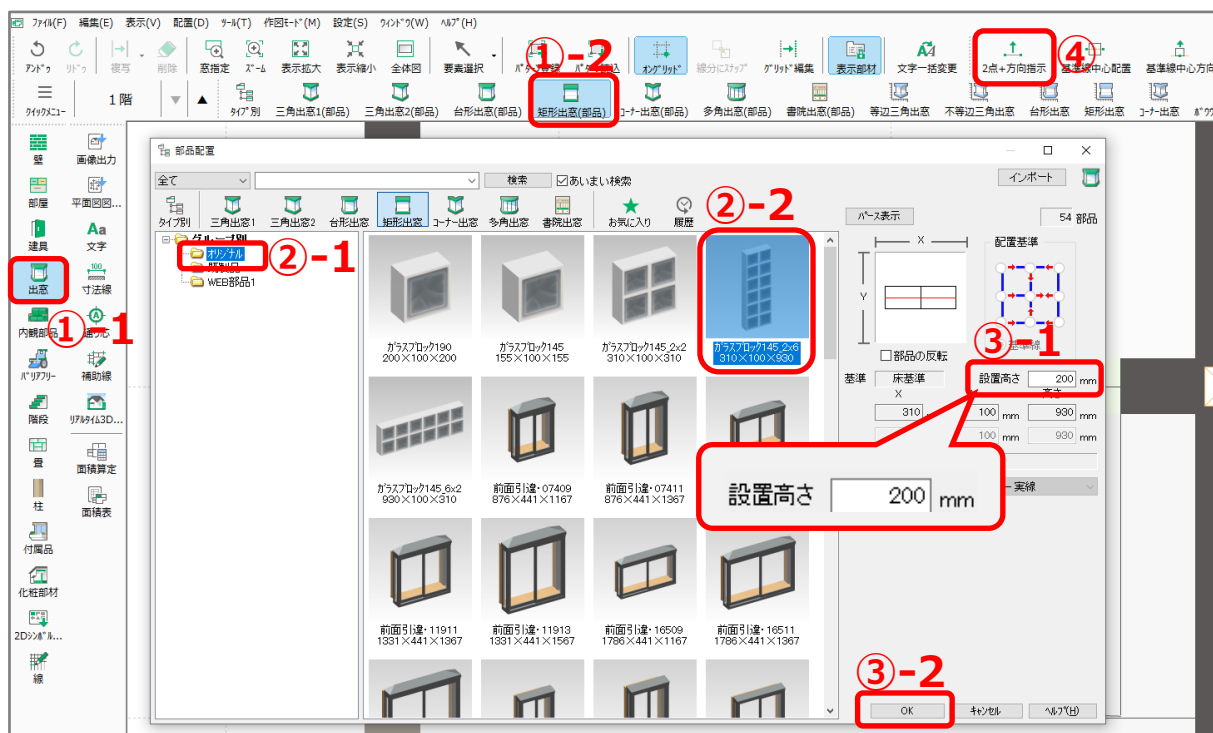
ここでは、図のように「ガラスブロック 145_2×6」を縦に2つ並べて配置する方法を説明します。



その他のガラスブロックも、同様の操作で入力できます。

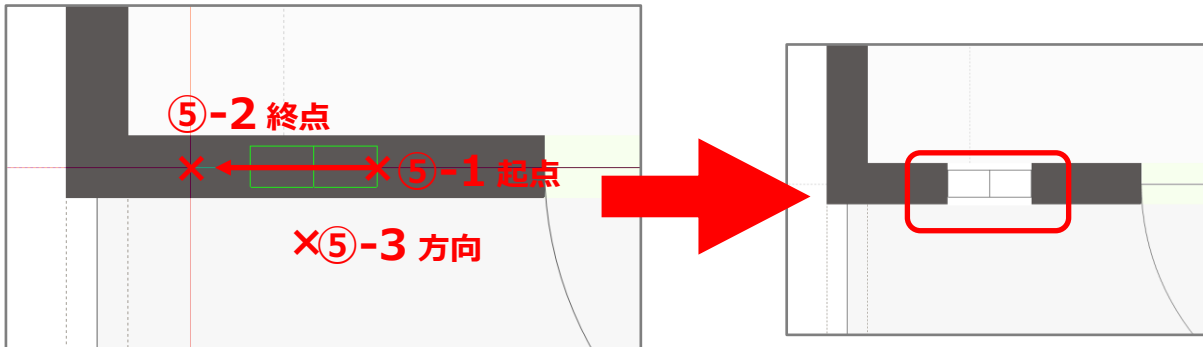
操作手順

- ① (プラン図)で (出窓)の (矩形出窓(部品))をクリック
 - * 部品配置の画面が表示されます。
- ② 「オリジナル」グループの「ガラスブロック 145_2×6」をクリック
- ③ 設置高を設定し、「OK」をクリック
 - * ここでは、設置高さを「200」mmに設定します。
 - * マウスと共にガラスブロックのラバーバンド表示が動きます。
- ④ (2点+方向指示)をクリック



- * ここでは、 (2点+方向指示)を使用しましたが、配置する位置などに応じて (基準線中心配置)、 (基準線中心方向)に切り替えてください。

⑤ 壁芯上で、起点-終点-方向の順にクリック



* 壁が開口され、ガラスブロックが配置されます。

⑥ 右クリック

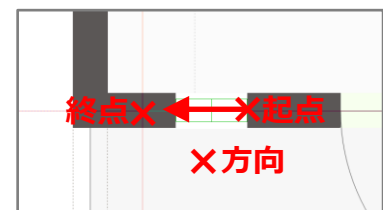
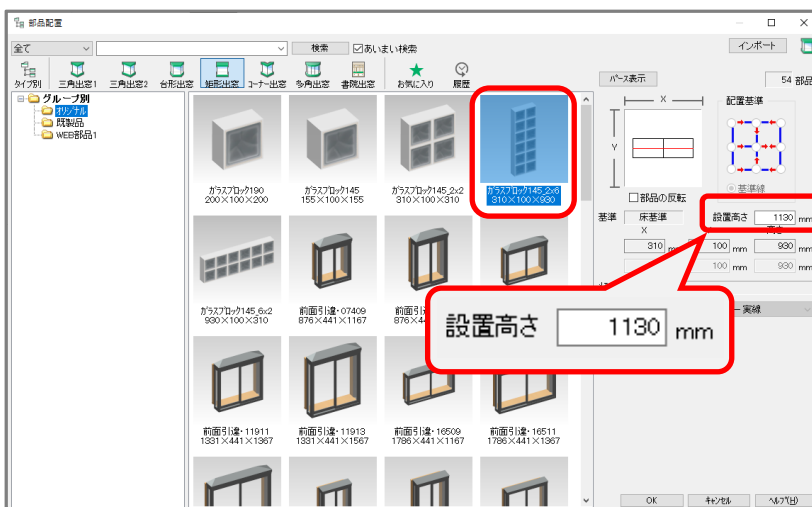
* 部品配置の画面が表示されます。

⑦ 「ガラスブロック 145_2×6」の設置高を変更し、重ねて配置

* ここでは、配置済みのガラスブロックの上端にあわせて配置するため、設置高に配置済みのガラスブロックの上端高を入力します。

配置済みのガラスブロックの上端の高さは

ガラスブロックの高さ (930mm) + ガラスブロックの設置高さ (200mm) = 1130mm



* ガラスブロックが縦に2つ並んで配置されます。

【注意】

ガラスブロックを重ねて配置する場合、「複写」を利用して配置済みのガラスブロックを同じ位置に複写し、設置高を変えて重ねて配置しても、壁は開口されません。

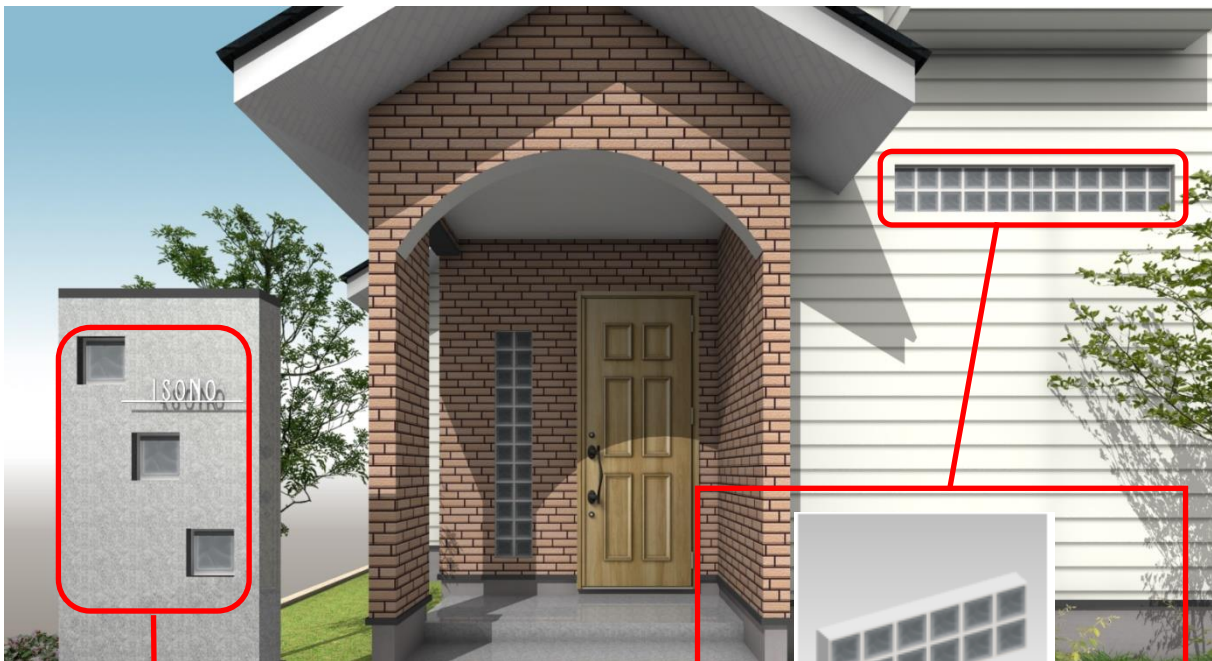
ガラスブロックを同じ位置に重ねて配置する場合は、「複写」は使用せず、操作⑦のように、設置高の異なるガラスブロックを重ねて配置してください。

⑧ (3D パース)で確認

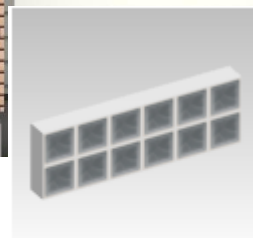


参考

● ガラスブロックの配置例



外部腰壁に「ガラスブロック190」を配置位置と設置高さを変えて3つ配置
ガラスブロックは壁にのみ配置可能です。



「ガラスブロック 145_6×2」を横に2つ並べて配置

- ガラスブロックの柄

ガラスブロックの柄は、 (3D パース)の部材色で変更できます。

柄の種類は以下のとおりです。

ガラスブロック (150A)	ガラスブロック 150(A20)	ガラスブロック 150 (コロナマ)	ガラスブロック 150 (コロナ)
ガラスブロック 150 (カット)	ガラスブロック 150 (モール)	ガラスブロック 150 (モール 2)	ガラスブロック 150 (木肌)

- ガラスブロックの光の透過

ガラスブロックは、テクスチャ（画像）を貼り付けて表現しているため光を通しません。

光の透過を表現するには、 (内観部品)⇒ (照明)⇒「オリジナル」の「窓光」をガラスブロックの位置に配置します。

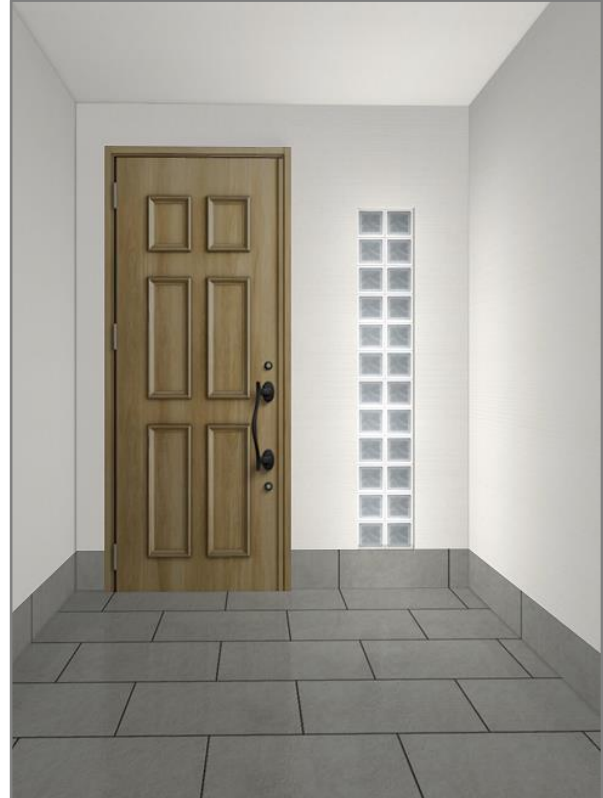
※ サイズの近いものを選択して配置してください。ここでは、「窓光_036-20_H2000 400×0×0」を配置しています。

※ サイズの変更も可能です。



- * 窓光はレンダリングすると反映されますので、レンダリングを行い、確認してください。

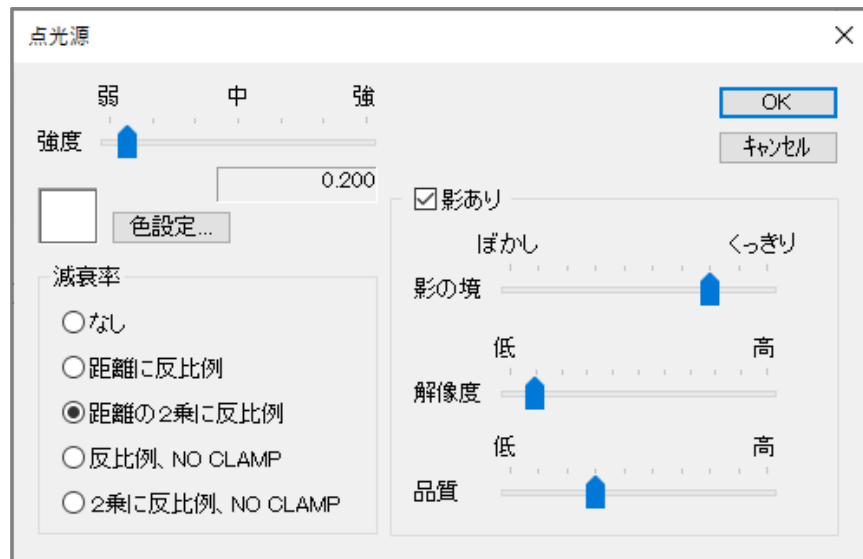


<窓光なし>



<窓光あり>

- *  (3D パース)の  (光源設定)で、窓光の強さなどを調整してください。
ここでの設定値は以下のとおりです。



【注意】

窓光は複数の光源を配置して窓からの光を表現しているため、レンダリング処理に時間がかかります。